

法人名	社会福祉法人 やながせ福祉会
事業所名	定期巡回 かつはら

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				でき ている	ほぼ でき ている	でき ない こと が多 い	全く でき てい ない		
I 構造評価 (Structure) [適正な事業運営]									
(1) 理念の明確化									
①	サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている。	○				法人理念である「利用者一人ひとりのニーズと意思を尊重し、出来る限りの生活の質の向上を図る」に基づき、定期巡回では「住み慣れた自宅で24時間365日の安心を」という理念を継続して掲げている。	【自己評価の内容を確認した】
(2) 適切な人材の育成									
①	専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している。	○				サービスの特徴と事業所の理念を十分に理解した上で、質の高いサービス提供が行えるように今後も取り組んでいく。	【自己評価の内容を確認した】
		3	運営者は、専門技術（アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など）の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等			○		コロナ禍において、施設内の研修は十分な開催とは言い難いが、資料配布や資料に基づき個別に指導する等、職員の育成に向けた取り組みは継続して行っている。法人外の研修も参加機会の確保が十分とは言えず、オンラインでの参加を行う等、参加する工夫を行い更なる技術・知識の向上に努めたい。	【自己評価の内容を確認した】

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					コメント
				でき ている	ほぼ でき ている	でき ない こと が多 い	全く でき ない		
		4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮		○			職員の配置に関しては、日勤と夜勤のバランスや過度な連勤を防ぐ等、心身共に負担が減らせるよう配慮している。訪問間隔も少しでもゆとりが持てるような配置にする等配慮している。	【自己評価の内容を確認した】
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	○				連携先の訪問看護事業所等と電話やケース記録の閲覧等行う事で日々の連携を図り、利用者の状態やニーズ等の情報共有を行い、相互理解を深める機会を確保している。	・日々の経過記録を後で見返す事が出来たり電話連絡してもらう事で、情報を共有出来るので助かっている。
(3) 適切な組織体制の構築									
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置（業務・シフトの工夫）を行っている	○				利用者の状態やニーズを把握し、出来る限り柔軟な対応が出来るように職員の配置やサービス調整等の工夫をしている。	【自己評価の内容を確認した】

②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等（サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等）を、サービスの提供等に適切に反映させてい					得られた要望や助言、改善策等を定期会議等で共有し、状況の改善が図れるようサービスの提供等に反映させている。	・利用者のニーズに合った支援が行われる様、回数や時間、内容等を臨機応変に変更しながら対応してもらえるので助かっています。
---	---------------------------	---	--	--	--	--	--	---	--

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価				外部評価コメント		
				実施状況						
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		コメント	
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備										
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、（個人情報管理に配慮した上で）必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている					○	利用者の状況の変化等はこまめに記録に残し、必要な情報を随時更新し、共通のシステムを活用する事で情報等の共有が出来るようにしている。	利用者の様子が分かり易く、変化のある場合も記録として残っている為、情報を共有し易く助かっている。。
(5) 安全管理の徹底										
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている（交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等）					○	各種マニュアルを作成し周知している。法人内の安全対策委員会が中心となって、災害時、運転時等の研修も行い、備品の管理、整備等も行っている。	【自己評価の内容を確認した】

②	利用者等の個人情報保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている。	○				個人情報に関しては、マニュアルに沿って取り扱い保護している。利用者の情報管理においても基本はPC管理で極力ペーパーレス化を図り、個人ファイル等必要な書類等は鍵付きの棚で徹底管理している。	【自己評価の内容を確認した】
---	-------------	----	--	---	--	--	--	---	----------------

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価				外部評価コメント	
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		コメント
II 過程評価 (Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	○				利用者のニーズや状態を把握し、その内容を生活リズムに合わせて支援が行われる様、アセスメントが出来ている。	【自己評価の内容を確認した】

		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	○				日々の状況を共有のシステムで確認し、必要に応じた電話連絡を行う事でお互いの情報共有を図る事が出来ており、介護と看護の両面からのアセスメントが出来ている。	日々の状況がシステムを通して確認する事が出来る上に、必要に応じて電話等でも報告をくれるので、的確な支援の実現に繋がっています。
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている				○	関係者からの情報や日々のサービス状況を通して、利用者の残存能力の把握、見極めを行い、必要な支援計画を立て心身機能の維持回復が図れるよう努めている。	利用者様の状態を考慮した支援になっており、心身機能の維持回復を前提としたプランの立案になっていると思います。

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価				外部評価コメント	
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
		14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が		○			重度化しても医療の依存度を高め過ぎないように、各関係者との連携をこまめに図り、先を見越したリスク管理が行えるよう努めている。	毎日必要に応じた訪問をしてもらえ、必要な情報を得る事が出来る為、リスク管理し易くなり、状況に応じた対策を取る事が出来る為助かっている。
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し									

①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努	○				利用者の体調等状態に変化が見られた際は、訪問回数や時間、支援内容を必要に応じて調整している。	利用者が体調を崩した際に、訪問回数を増やしたり、随時訪問もしてくれて、こまめに報告ももらえるので安心です。
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われて	○				定期訪問や随時訪問を通じて、継続的なモニタリングを行い、利用者の様子や状態の変化などを早期把握し、関係者と速やかに連携を図る等して適宜計画へ反映している。	【自己評価の内容を確認した】

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				でき ている	ほぼ でき ている	でき ない こと が多い	全く でき ない		
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供									
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われ	○				日々の体調や状況の変化に合わせて訪問看護事業所と連携を密にとり、助言や必要な訪問による対応をしてもらう事で、専門性を生かした役割分担が行われている。	こまめに連絡があるので、助言もし易く速やかに対応が可能になるので助かっている。

②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導・助言が行われて	○				訪問看護師より予防や機能の維持回復に必要な助言や指導を受けながら日々努めている。	予防や重度化の予防、機能の回復に向け助言した内容を取り組んでもらい助かっている。
---	-----------------------	----	---	---	--	--	--	--	--

(4) 利用者等との情報及び意識の共有

①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて十分な情報提供	○				サービス開始前のカンファレンスやサービス担当者会議、事前訪問にてアセスメントを行い、契約時に利用者やご家族に対してサービスの趣旨や内容等必要な情報提供、説明を行っている。	【自己評価の内容を確認した】
---	------------------------------------	----	--	---	--	--	--	---	----------------

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価				外部評価コメント	
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	○				計画書の目標やサービス内容を説明し、共通の認識を得られた際は、署名と捺印をしてもらっている。	【自己評価の内容を確認した】

②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている（※任						
---	---	----	--	--	--	--	--	--	--

3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画

(1) 地域への積極的な情報発信及び提案

①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている		○			議事録にまとめ保管、管理している。	【自己評価の内容を確認した】
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		○			定期巡回の効果等を、居宅介護支援事業所や病院関係者に対して広報周知を継続して行っている。	【自己評価の内容を確認した】

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価				外部評価コメント
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない	

(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画

①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している。		○			引き続き研修で取り扱う等して、地域包括ケアシステムの方針や計画について十分理解出来るように努めている。	【自己評価の内容を確認した】
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている。		○			提供エリアにこだわらず利用の受け入れを行っており、広く展開しサービス提供出来るよう継続して努めている。	【自己評価の内容を確認した】
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用						

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価				外部評価コメント
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない	

Ⅲ. 結果評価 (Outcome)

①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	○				情報を共有し、統一したケアを行う事で計画目標の達成が図られている。	【自己評価の内容を確認した】
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	○				サービス利用後、柔軟な対応とこまめな連携を利用者、家族、各関係者と図る事で、安心して生活出来るとお言葉を利用者や家族から頂けている。今後も在宅生活を安心して過ごして頂けるように努める。	定期巡回を利用して、自宅での様子も分かるようになり安心出来ている。